

大阪広域データ連携基盤（ORDEN） 【区域計画】

- 大阪府における先端的サービスの実装や多様なデータの流通を促進する仕組みとして、大阪広域データ連携基盤（ORDEN）を大阪府が2023年3月に構築した。
- スーパーシティ構想において検討を進める、「データなどの活用による交通量予測に基づく工事車両のピークシフト誘導」や、「交通量や混雑状況等の分析に基づく最適なルート案内」などで本基盤の活用を想定。
- その他、2023年度末を目途に「大阪Myポータル（仮称）」を構築し、個人の属性情報（年齢・興味関心等）に応じ、必要な情報を、必要なタイミングで提供することに加え、電子申請や予約システムとのシームレスな連携により、行政手続の利便性向上に取り組む。
- また、安全・安心なデータ連携基盤の運用のため、データの安全管理等のセキュリティ対策やプライバシー保護対策を適切に講じる*。
* 内閣府が提示する「スーパーシティ等におけるデータ連携基盤に求められる互換性・安全性・プライバシーに関する事項」へ適合した整備・運用を実施。
- 今後、特区制度の基本方針に則り、ORDENの成果を府域のみならず、オープン化等により他のスマートシティに横展開することをめざす。

